

# 企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

愛知県

蟹江町



## 川とともに歴史を刻み、 発展を続けてきた水郷のまち。

愛知県の西南部に位置する蟹江町。中世にさかのぼれば一面海に囲まれた土地で、海辺には柳が茂り、蟹が多く生息していたことから「蟹江」と呼ばれるようになったと伝えられています。戦国時代には伊勢湾の海上交通路の要塞地として、江戸時代には漁業基地としても栄え、賑わいを見せました。蟹江川、日光川、善太川、福田川、佐屋川など多くの川が流れ、今も水郷の町らしさを感じさせます。



取材・写真協力：蟹江町 政策推進室 ふるさと振興課

### ① 須成祭

富吉建速神社・八剱社の祭礼は、8月第1土曜日の「だんじり舟車楽船行事」と、「みよし神霞流し」の一連の行事で構成。2012年に国の重要無形民俗文化財に、2016年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。



### ② 龍照院

平安時代末期、1182(寿永元)年に仏師僧教円によって造立されたという龍照院の御本尊十一面観世音菩薩像は国の重要文化財です。毎月一回ご開帳されます。



### ③ 尾張温泉

健康と保養の温泉として、愛知県下で唯一日本名湯百選に選ばれた尾張温泉。加水、加温、循環を一切行わない、源泉100%かけ流しの良質な“いで湯”です。



### ④ いな饅頭

汽水魚ボラの幼魚、イナでつくられた蟹江の名物料理。一見、普通の魚の丸焼きですが、中にはギンナンやしいたけを練り込んだ豆味噌がぎっしりと詰まっています。



### ⑤ 文学散歩道

町内を流れる佐屋川沿いの桜並木の散歩道には、町民の俳句や短歌などの板碑が建ち並んでいます。散歩しながら文学に親しめる、まさに自然の文学館です。